

令和 7 年度 小中学生アンケート結果報告書

【調査について】

○ 調査の目的

この調査は、町内の小中学生を対象に精華町のまちづくりに関する意識の変容を把握することを目的に実施しました。

○ 調査対象

令和 7 年 5 月現在、精華町立小学校の小学 6 年生及び精華町立中学校の中学 3 年生

○ 調査方法

ギガスクール端末を活用したネット回答

○ 調査期間

令和 7 年 4 月 16 日（水）～同年 5 月 23 日（金）

○ 回答数

小学 6 年生：354 件（令和 6 年度：377 件）

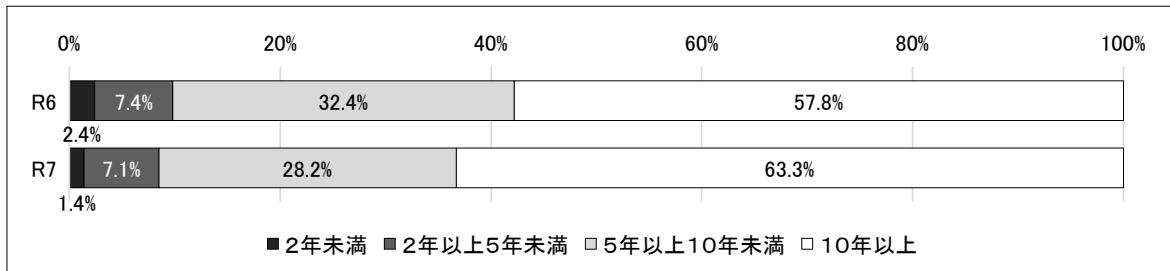
中学 3 年生：326 件（令和 6 年度：317 件）

■ 小学校6年生アンケート

	令和6年度	令和7年度
回答者数	377	354

問1 あなたのことをおしえてください。

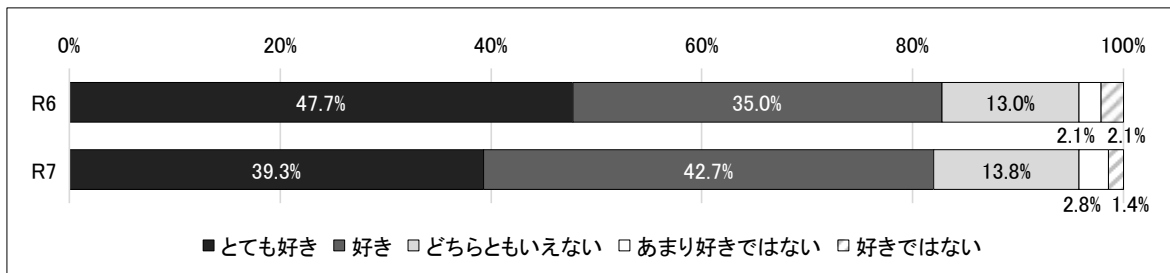
(1)あなたは今のところに、何年くらい住んでいますか。



項目	令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
2年未満	9	2.4%	5	1.4%
2年以上5年未満	28	7.4%	25	7.1%
5年以上10年未満	122	32.4%	100	28.2%
10年以上	218	57.8%	224	63.3%

問2 精華町のイメージをおしえてください。

(1)あなたは精華町が好きですか。

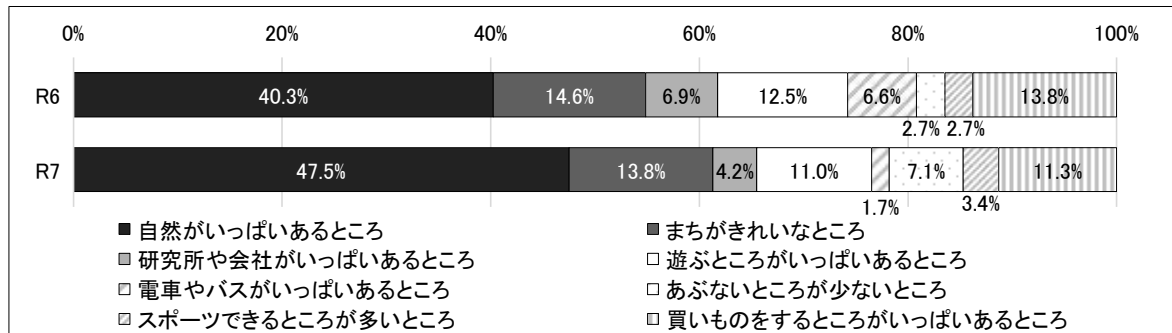


項目	令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
とても好き	180	47.7%	139	39.3%
好き	132	35.0%	151	42.7%
どちらともいえない	49	13.0%	49	13.8%
あまり好きではない	8	2.1%	10	2.8%
好きではない	8	2.1%	5	1.4%

精華町が好きかについて、最も多いのは「とても好き」で39.3%、次いで「好き」が42.7%で合計で約82%が精華町が好きと回答している。これは18歳以上を対象とした住民意識調査と同水準である。昨年度調査結果と比較すると、「とても好き」及び「好き」の合計の比率は同程度の水準ではあるが、「とても好き」の比率が減少傾向にある。これが一時的な動向なのか、今後留意する必要がある。

■ 小学校6年生アンケート

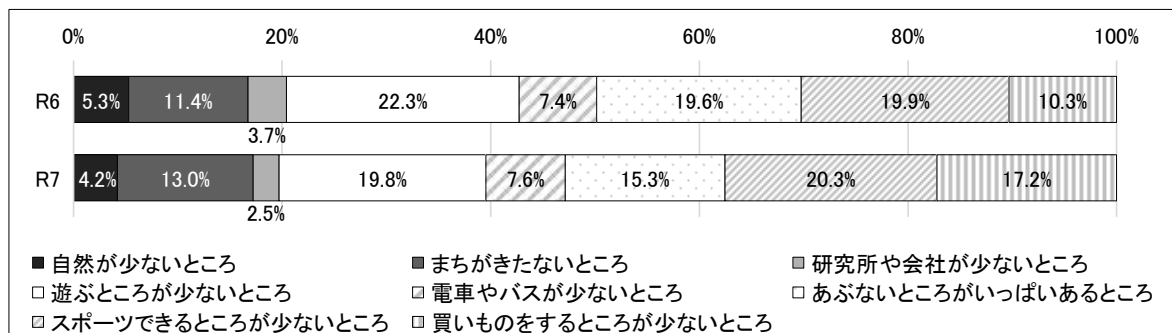
(2) 精華町の好きなところを1つ選んでください。



項目	令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
自然がいっぱいあるところ	152	40.3%	168	47.5%
まちがきれいなところ	55	14.6%	49	13.8%
研究所や会社がいっぱいあるところ	26	6.9%	15	4.2%
遊ぶところがいっぱいあるところ	47	12.5%	39	11.0%
電車やバスがいっぱいあるところ	25	6.6%	6	1.7%
あぶないところが少ないところ	10	2.7%	25	7.1%
スポーツできるところが多いところ	10	2.7%	12	3.4%
買いものをするとところがいっぱいあるところ	52	13.8%	40	11.3%

精華町の好きなところについて、最も多いのは「自然がいっぱいあるところ」(47.5%)、次いで「まちがきれいなところ」(13.8%)となっており、この傾向は昨年度と同様である。「電車やバスがいっぱいあるところ」は昨年度も比率が小さかったが、今年度はさらに比率が減少し、選択肢の中で最も低くなっている。1年間で公共交通の状況に変化があったとは考えにくいですが、公共交通に課題がないか検討する必要があると考えられる。

(3) 精華町の好きではないところを1つ選んでください。



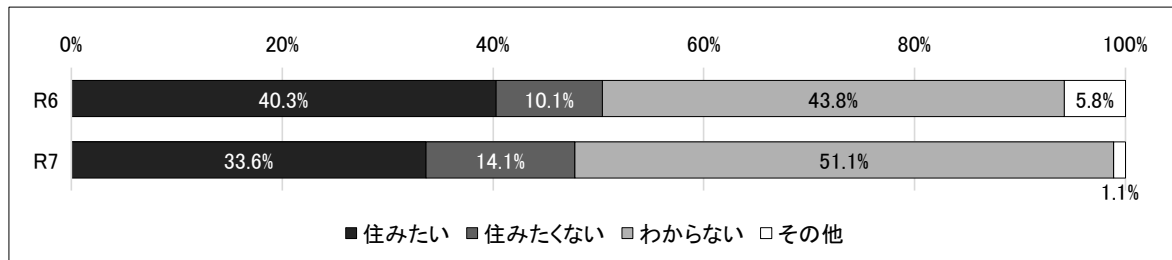
項目	令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
自然が少ないところ	20	5.3%	15	4.2%
まちがきたないところ	43	11.4%	46	13.0%
研究所や会社が少ないところ	14	3.7%	9	2.5%
遊ぶところが少ないところ	84	22.3%	70	19.8%
電車やバスが少ないところ	28	7.4%	27	7.6%
あぶないところがいっぱいあるところ	74	19.6%	54	15.3%
スポーツできるところが少ないところ	75	19.9%	72	20.3%
買いものをするとところが少ないところ	39	10.3%	61	17.2%

精華町の好きではないところについて、最も多いのは「スポーツできるところが少ないところ」(20.3%)、次いで「遊ぶところが少ないところ」(19.8%)となっており、この2つは昨年度も多かった項目である。「買いものをするとところが少ないところ」の比率が昨年度に比べ増加傾向にあり、今後留意する必要がある。

■ 小学校6年生アンケート

問3 あなたの将来についておしえてください。

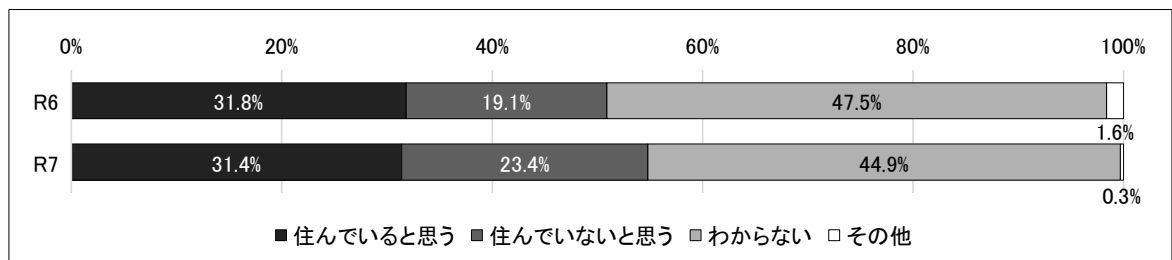
(1) あなたはずっと精華町に住みたいですか。



項目	令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
住みたい	152	40.3%	119	33.6%
住みたくない	38	10.1%	50	14.1%
わからない	165	43.8%	181	51.1%
その他	22	5.8%	4	1.1%

ずっと精華町に住みたいかについて、最も多いのは「わからない」(51.1%)でこれは昨年度の傾向と同様である。小学6年生という年齢では将来の進路・キャリア等について明確化が難しいためと考えられる。ただ、「住みたい」が「住みたくない」の比率を上回る傾向は昨年度と同様ではあるが、これらの比率の差が縮まってきている点には留意が必要であると考えられる。

(2) あなたは10年後精華町に住んでいると思いますか。

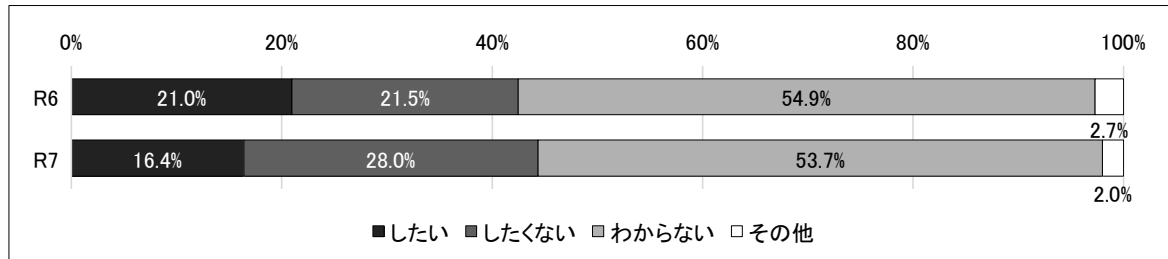


項目	令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
住んでいると思う	120	31.8%	111	31.4%
住んでいないと思う	72	19.1%	83	23.4%
わからない	179	47.5%	159	44.9%
その他	6	1.6%	1	0.3%

10年後精華町に住んでいると思うかについて、最も多いのは「わからない」(44.9%)であり、昨年度の傾向と同様である。前問と同様、小学6年生という年齢では将来の進路・キャリア等について明確化が難しいためと考えられる。

■ 小学校6年生アンケート

(3) あなたは精華町内で仕事がしたいですか。

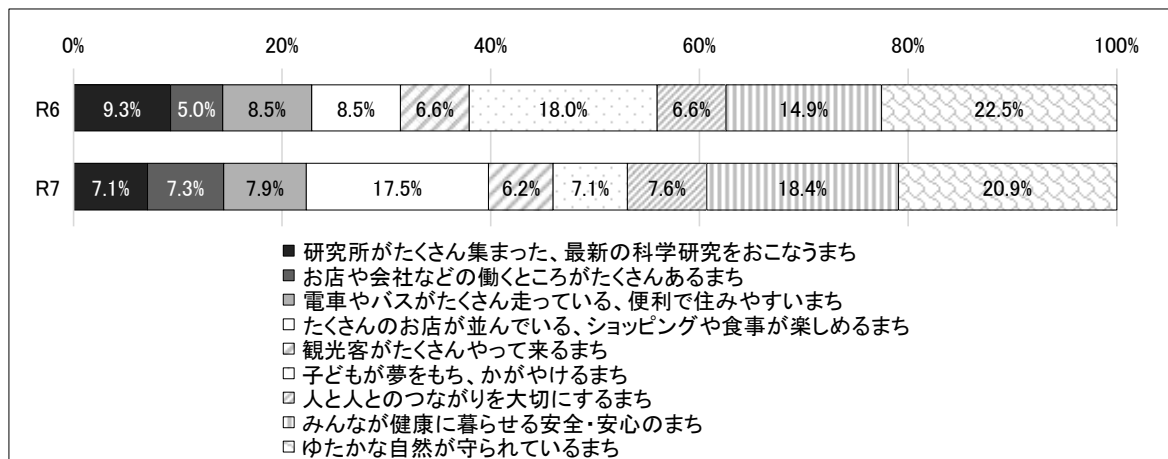


項目	令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
したい	79	21.0%	58	16.4%
したくない	81	21.5%	99	28.0%
わからない	207	54.9%	190	53.7%
その他	10	2.7%	7	2.0%

精華町内で仕事をしたいかについて、最も多いのは「わからない」(53.7%)であり、昨年度の傾向と同様であり、(1)及び(2)の設問と同様の傾向がみとれる。ただし、「精華町内で仕事がしたい」という比率が減少し、「したくない」という比率が増加しており、これは(1)と同様の傾向である。精華町内で仕事をしたい、住みたいと思ってもらえるような取組みを検討する必要がある。

問4 精華町への期待についておしえてください。

(1) 精華町は将来どのようなまちになることを期待しますか？
(あてはまるものを1つ選んでください)



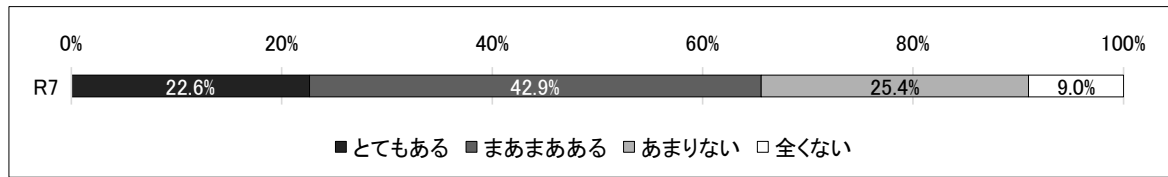
項目	令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
研究所がたくさん集まった、最新の科学研究をおこなうまち	35	9.3%	25	7.1%
お店や会社などの働くところがたくさんあるまち	19	5.0%	26	7.3%
電車やバスがたくさん走っている、便利で住みやすいまち	32	8.5%	28	7.9%
たくさんのお店が並んでいる、ショッピングや食事が楽しめるまち	32	8.5%	62	17.5%
観光客がたくさんやって来るまち	25	6.6%	22	6.2%
子どもが夢をもち、かがやけるまち	68	18.0%	25	7.1%
人と人とのつながりを大切にするまち	25	6.6%	27	7.6%
みんなが健康に暮らせる安全・安心のまち	56	14.9%	65	18.4%
ゆたかな自然が守られているまち	85	22.5%	74	20.9%

精華町は将来どのようなまちになることを期待するかについて、最も多いのは「ゆたかな自然が守られているまち」(20.9%)、次いで「みんなが健康に暮らせる安全・安心のまち」(18.4%)となっている。「たくさんのお店が並んでいる、ショッピングや食事が楽しめるまち」(17.5%)は昨年度の調査結果から比率が倍増しており、経済的な側面に係るニーズの強さがみとれる。

■ 小学校6年生アンケート

問5 精華町では学研都市の特色を生かした学びの機会として「科学のまちの子どもたち」プロジェクトを行っています。

(1) あなたは「科学(サイエンス)」や「ものづくり」に興味がありますか？



項目	令和6年度*		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
とてもある	-	-	80	22.6%
まあまあある	-	-	152	42.9%
あまりない	-	-	90	25.4%
全くない	-	-	32	9.0%

*令和7年度新規設問につき、令和6年度の回答はなし。

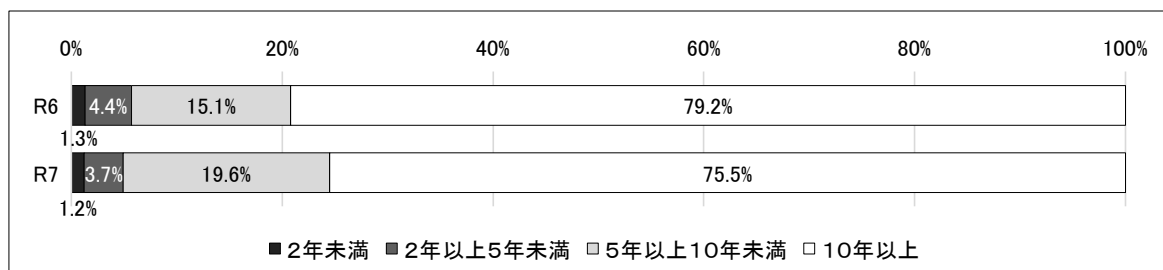
「科学(サイエンス)」や「ものづくり」への興味について、「とてもある」「まあまあある」の合計が65.5%と多数を占めており、「科学のまちの子どもたち」プロジェクトのよい影響が発現しているとみられる。他方、「あまりない」(25.4%)や「全くない」(9.0%)という回答も少なくなく、今後は幅広い子どもたちへの働きかけが必要になってくると考えられる。

■ 中学校3年生アンケート

	令和6年度	令和7年度
回答者数	317	326

問1 あなたご自身のことについて教えてください。

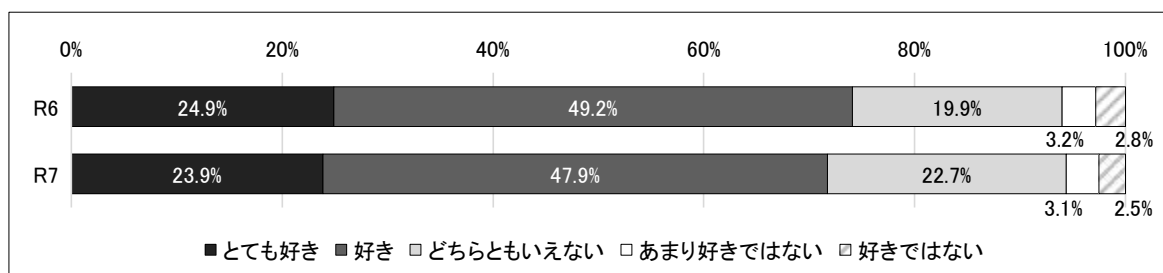
(1) あなたは、現在の場所に住んでどのくらいですか。



項目	令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
2年未満	4	1.3%	4	1.2%
2年以上5年未満	14	4.4%	12	3.7%
5年以上10年未満	48	15.1%	64	19.6%
10年以上	251	79.2%	246	75.5%

問2 精華町のイメージを教えてください。

(1) あなたは精華町が好きですか。

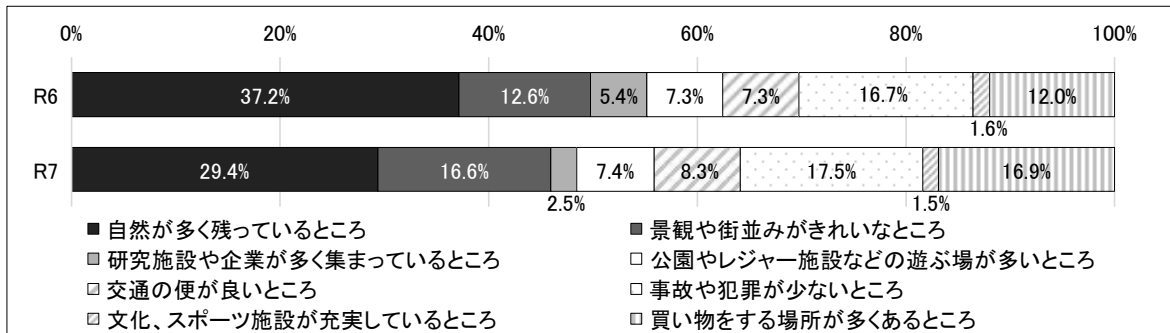


項目	令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
とても好き	79	24.9%	78	23.9%
好き	156	49.2%	156	47.9%
どちらともいえない	63	19.9%	74	22.7%
あまり好きではない	10	3.2%	10	3.1%
好きではない	9	2.8%	8	2.5%

精華町が好きかについて、「とても好き」と「好き」を合わせて約72%となっており、昨年度と同程度の水準であり、多くが精華町に愛着を抱いているといえる。ただし、小学生と比較すると「とても好き」と「好き」の合計が約10%低水準であり、逆に「どちらともいえない」は約9%多く、精華町に対する捉え方に変化がみられる。

■ 中学校3年生アンケート

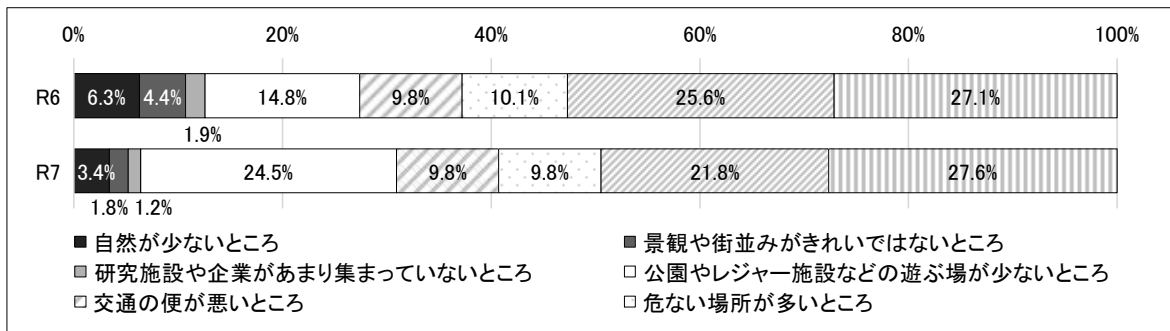
(2) 精華町の好きなところを1つ選んでください。



項目	令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
自然が多く残っているところ	118	37.2%	96	29.4%
景観や街並みがきれいなところ	40	12.6%	54	16.6%
研究施設や企業が多く集まっているところ	17	5.4%	8	2.5%
公園やレジャー施設などの遊ぶ場が多いところ	23	7.3%	24	7.4%
交通の便が良いところ	23	7.3%	27	8.3%
事故や犯罪が少ないところ	53	16.7%	57	17.5%
文化、スポーツ施設が充実しているところ	5	1.6%	5	1.5%
買い物をする場所が多くあるところ	38	12.0%	55	16.9%

精華町の好きなところについて、最も多いのは昨年度に引き続き「自然が多く残っているところ」(29.4%)であるが、回答の比率が約8%減少している。小学生アンケートでは「自然」の回答が約7%増加していることを鑑みると、この減少が何に起因するものか検討する必要がある。

(3) 精華町の好きではないところを1つ選んでください。

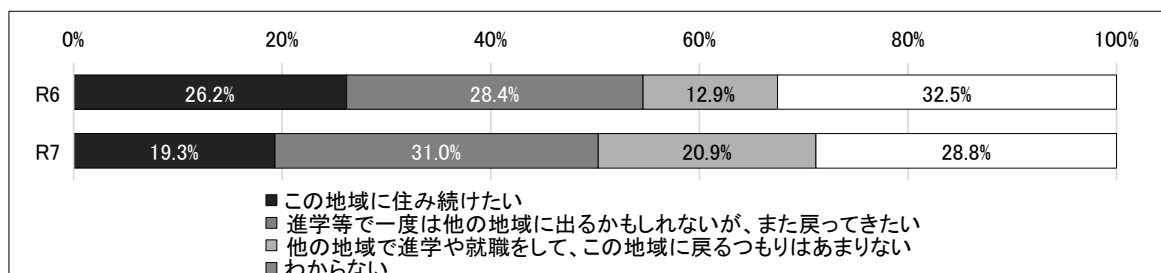


項目	令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
自然が少ないところ	20	6.3%	11	3.4%
景観や街並みがきれいではないところ	14	4.4%	6	1.8%
研究施設や企業があまり集まっていないところ	6	1.9%	4	1.2%
公園やレジャー施設などの遊ぶ場が少ないところ	47	14.8%	80	24.5%
交通の便が悪いところ	31	9.8%	32	9.8%
危険な場所が多いところ	32	10.1%	32	9.8%
文化、スポーツ施設が少ないところ	81	25.6%	71	21.8%
買い物をする場所が少ないところ	86	27.1%	90	27.6%

精華町の好きではないところについて、最も多いのは昨年度に引き続き「買い物をする場所が少ないところ」(27.6%)で、次いで「公園やレジャー施設などの遊ぶ場が少ないところ」(24.5%)、「文化、スポーツ施設が少ないところ」(21.8%)となっている。順位の変動はあるものの、上位3位までの組み合わせは昨年度と同様であり、「遊び場」「文化、スポーツ施設」「買い物施設」については、精華町への満足度を高めるうえでの重要な要素であり、短期的には改善に至っていないと考えられる。

■ 中学校3年生アンケート

(4)あなたは、これからも精華町に住み続けたいですか

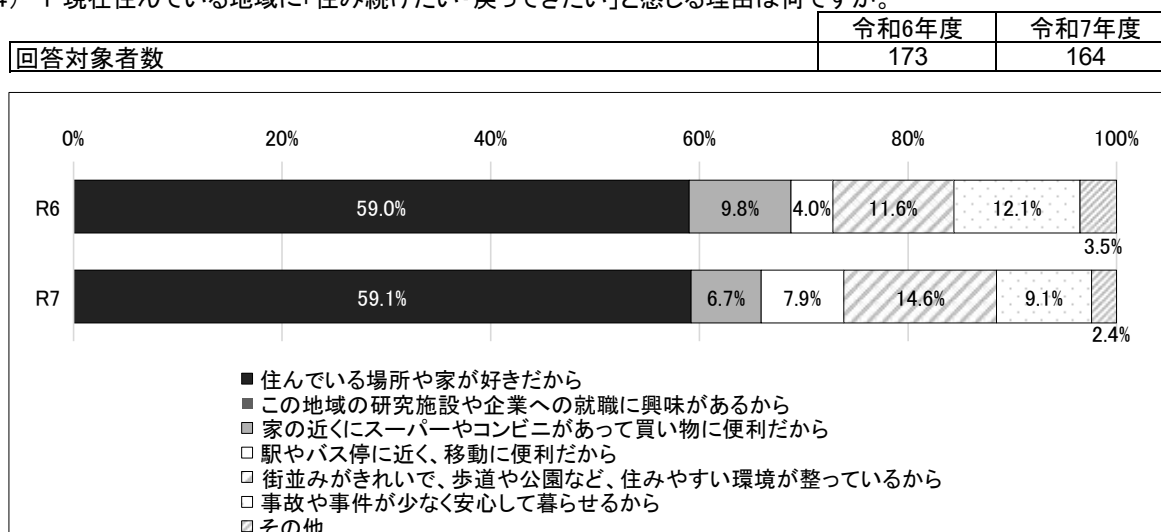


項目	令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
この地域に住み続けたい	83	26.2%	63	19.3%
進学等で一度は他の地域に出るかもしれないが、また戻ってきたい	90	28.4%	101	31.0%
他の地域で進学や就職をして、この地域に戻るつもりはあまりない	41	12.9%	68	20.9%
わからない	103	32.5%	94	28.8%

これからも精華町に住み続けたいかについて、最も多いのは「(他地域に出た後)また戻ってきたい」(31.0%)、次いで「わからない」(28.8%)であった。昨年度と同様、「この地域に住み続けたい」と「また戻ってきたい」の合計は50%を超えているものの、「戻るつもりはあまりない」が約8%増加しており、住み続けることについて否定的な意見が増えてきている。この点は、(4)-2でも検討する。

(4)で「この地域に住み続けたい」、「進学等で一度は他の地域に出るかもしれないが、また戻ってきたい」を選択した人にお聞きします。

(4)-1 現在住んでいる地域に「住み続けたい・戻ってきたい」と感じる理由は何ですか。



項目	令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
住んでいる場所や家が好きだから	102	59.0%	97	59.1%
この地域の研究施設や企業への就職に興味があるから	0	0.0%	0	0.0%
家の近くにスーパーやコンビニがあって買い物に便利だから	17	9.8%	11	6.7%
駅やバス停に近く、移動に便利だから	7	4.0%	13	7.9%
街並みがきれいで、歩道や公園など、住みやすい環境が整っているから	20	11.6%	24	14.6%
事故や事件が少なく安心して暮らせるから	21	12.1%	15	9.1%
その他	6	3.5%	4	2.4%

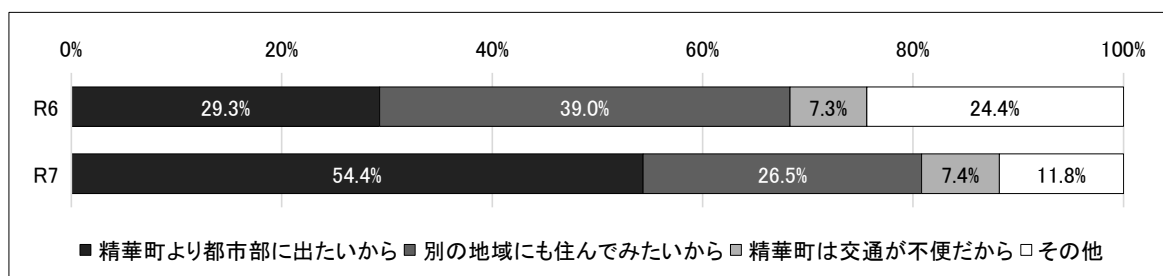
「住み続けたい・戻ってきたい」と回答した理由について、最も多いのは「住んでいる場所や家が好きだから」(59.1%)、次いで「街並みがきれいで...」(14.6%)、「事故や事件が少なく...」(9.1%)となっている。特に「住んでいる場所や家が好きだから」は昨年度と同様に高い比率となっており、地域や自宅への愛着が「住み続けたい・戻ってきたい」という背景にあることがうかがえる。なお、「この地域の研究施設や企業への就職に興味があるから」は昨年度と同様に回答が1件もなかった。

(4)で「他の地域で進学や就職をして、この地域に戻るつもりはあまりない」を選択した人にお聞きします。

(4)-2 現在住んでいる地域に「戻るつもりはあまりない」と感じる理由は何ですか。

■ 中学校3年生アンケート

	令和6年度	令和7年度
回答対象者数	41	68

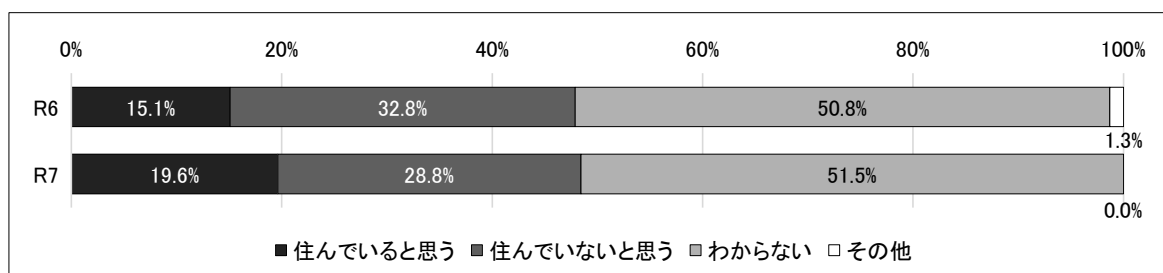


項目	令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
精華町より都市部に出たいから	12	29.3%	37	54.4%
別の地域にも住んでみたいから	16	39.0%	18	26.5%
精華町は交通が不便だから	3	7.3%	5	7.4%
その他	10	24.4%	8	11.8%

「戻るつもりはあまりない」と感じた理由として、最も多いのは「精華町より都市部に出たいから」(54.4%)、次いで「別の地域にも住んでみたいから」(26.5%)となっている。特に「精華町より都市部に出たいから」は昨年度と比べて約25%増加しており、「都市部」への憧れが「戻るつもりはあまりない」と回答した背景にあることが読み取れる。「戻るつもりはあまりない」と回答した方については、後の「クロス集計」でさらに検討を行う。

問3 あなたの将来について教えてください。

(1) あなたは、10年後、精華町に住んでいると思いますか。

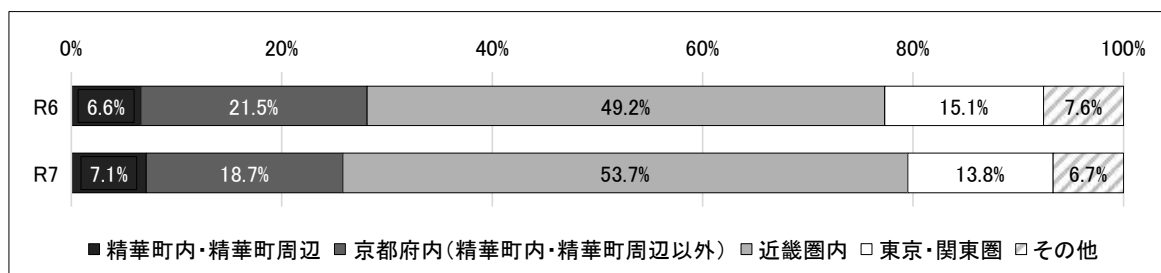


項目	令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
住んでいると思う	48	15.1%	64	19.6%
住んでいないと思う	104	32.8%	94	28.8%
わからない	161	50.8%	168	51.5%
その他	4	1.3%	0	0.0%

10年後精華町に住んでいると思うかについて、最も多いのは「わからない」(51.5%)であり、昨年度の傾向と同様である。小学生と同様、中学3年生という年齢では将来の進路・キャリア等について明確化が難しいためと考えられる。

■ 中学校3年生アンケート

(2) あなたは、将来、どこで就職したいですか

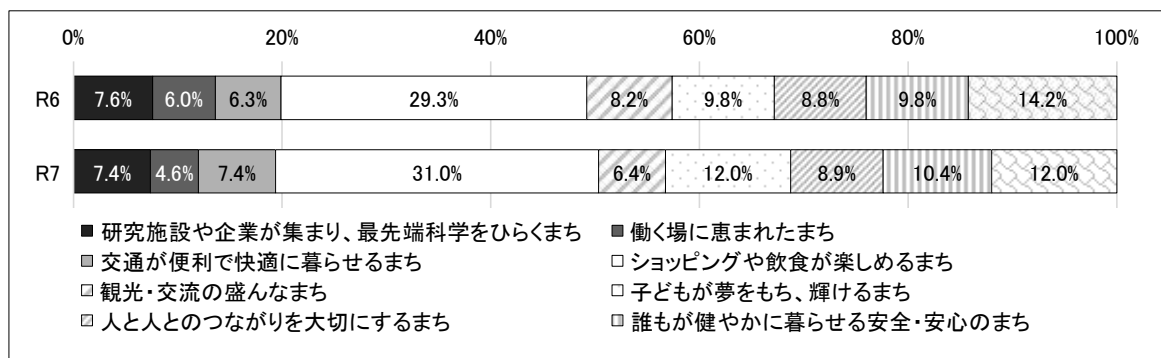


項目	令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
精華町内・精華町周辺	21	6.6%	23	7.1%
京都府内(精華町内・精華町周辺以外)	68	21.5%	61	18.7%
近畿圏内	156	49.2%	175	53.7%
東京・関東圏	48	15.1%	45	13.8%
その他	24	7.6%	22	6.7%

将来どこで就職したいかについて、最も多いのは「近畿圏内」(53.7%)であり、昨年度の傾向と同様である。「精華町内・精華町周辺」は昨年度と同様に低い水準である。精華町内・精華町周辺での企業や事業に触れる機会を持っていないことが背景にある可能性があり、この点は今後の取組みに活かしていく必要があると考えられる。

問4 精華町への期待を教えてください。

(1) あなたは、精華町が将来どのようなまちになることを期待しますか。次の中から1つ選んでください。



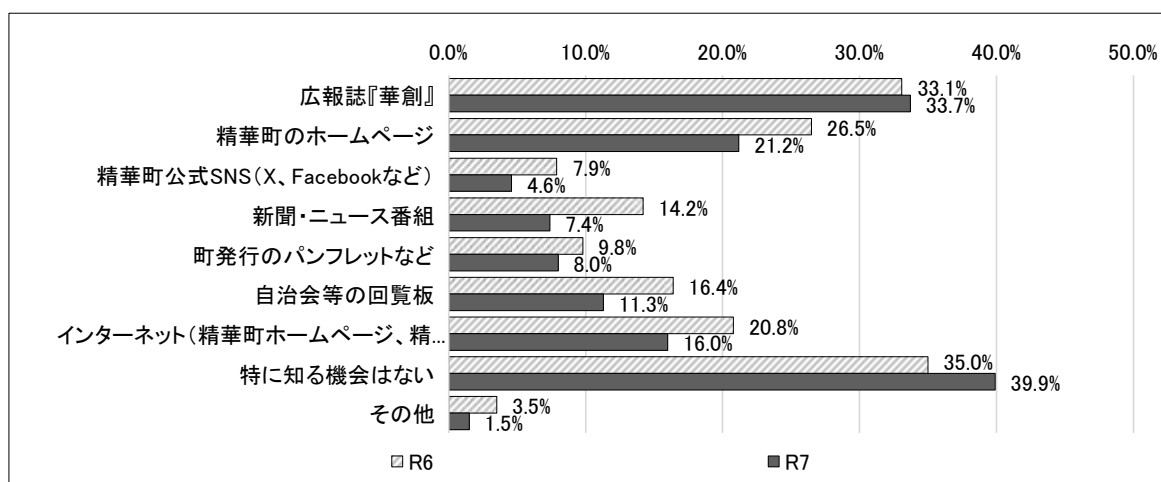
項目	令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
研究施設や企業が集まり、最先端科学をひらくまち	24	7.6%	24	7.4%
働く場に恵まれたまち	19	6.0%	15	4.6%
交通が便利で快適に暮らせるまち	20	6.3%	24	7.4%
ショッピングや飲食が楽しめるまち	93	29.3%	101	31.0%
観光・交流の盛んなまち	26	8.2%	21	6.4%
子どもが夢をもち、輝けるまち	31	9.8%	39	12.0%
人と人とのつながりを大切にするまち	28	8.8%	29	8.9%
誰もが健やかに暮らせる安全・安心のまち	31	9.8%	34	10.4%
豊かな自然と環境が守られた美しいまち	45	14.2%	39	12.0%

精華町が将来どのようなまちになることを期待するかについて、最も多いのは「ショッピングや飲食が楽しめるまち」(31.0%)、次いで「子どもが夢をもち、輝けるまち」「豊かな自然と環境が守られた美しいまち」(ともに12.0%)となっている。昨年度と同様、「ショッピングや飲食が楽しめるまち」は他の選択肢に比べて圧倒的に多く、この点に対するニーズが非常に強いことが読み取れる。

■ 中学校3年生アンケート

問5 精華町の広報について教えてください。

- (1) あなたが精華町のことを知るのは、どのような方法ですか？
あてはまる番号をすべて選んでください。

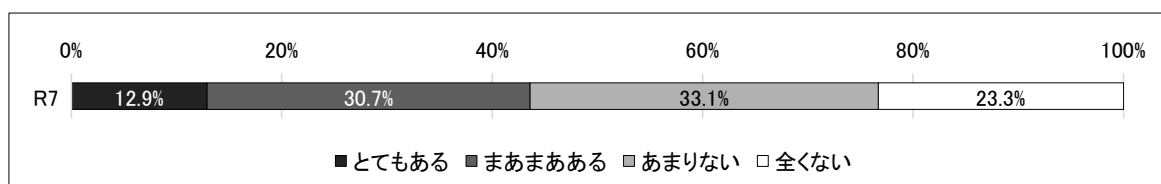


項目	人数	割合	人数	割合
広報誌『華創』	105	33.1%	110	33.7%
精華町のホームページ	84	26.5%	69	21.2%
精華町公式SNS(X、Facebookなど)	25	7.9%	15	4.6%
新聞・ニュース番組	45	14.2%	24	7.4%
町発行のパンフレットなど	31	9.8%	26	8.0%
自治会等の回覧板	52	16.4%	37	11.3%
インターネット(精華町ホームページ、精華町公式SNS以外)	66	20.8%	52	16.0%
特に知る機会はない	111	35.0%	130	39.9%
その他	11	3.5%	5	1.5%

精華町のことを知る方法について、最も多いのは「広報誌『華創』」(33.7%)、次いで「精華町のホームページ」(21.2%)であった。逆に40%近くの中学生が「特に知る機会はない」と回答しており、中学生をはじめとした若年層への情報発信方法を検討する必要がある。SNSやインターネットの回答比率が低い(それぞれ4.6%、16.0%)ことから、これらの媒体を積極的に活用していくことが考えられる。

問6 精華町では学研都市の特色を生かした学びの機会として「科学のまちの子どもたち」プロジェクトを行っています。

- (1) あなたは、「科学(サイエンス)」や「ものづくり」に興味がありますか？



項目	令和6年度*		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合
とてもある	-	-	42	12.9%
まあまあある	-	-	100	30.7%
あまりない	-	-	108	33.1%
全くない	-	-	76	23.3%

*令和7年度新規設問につき、令和6年度の回答はなし。

「科学(サイエンス)」や「ものづくり」への興味について、「とてもある」「まあまあある」の合計が43.6%あるのに対し、「あまりない」「全くない」の合計が56.4%と半数を超えており、小学生の回答結果とは逆の傾向が出ている。原因について深掘りが必要にはなるものの、中学生に「科学」「ものづくり」に興味をもってもらえるような取組みが必要になってくるのではないかと考えられる。

【クロス集計】

問2(4)「あなたは、これからも精華町に住み続けたいですか」と、問2(3)「精華町の好きではないところを1つ選んでください。」、及び、問4(1)「あなたは、精華町が将来どのようなまちになることを期待しますか。」をクロス集計した。

問2(4)「あなたは、これからも精華町に住み続けたいですか」 問2(3)「精華町の好きではないところを1つ選んでください。」	この地域に住み続けたい	進学等で一度は他の地域に出るかもしれないが、また戻ってきたい	他の地域で進学や就職をして、この地域に戻るつもりはあまりない	わからない	合計
自然が少ないところ	4 (6.3%)	1 (1.0%)	2 (2.9%)	4 (4.3%)	11 (3.4%)
景観や街並みがきれいではないところ	1 (1.6%)	1 (1.0%)	1 (1.5%)	3 (3.2%)	6 (1.8%)
研究施設や企業が集まらず、最先端科学をひらくまち	0 (0.0%)	1 (1.0%)	1 (1.5%)	2 (2.1%)	4 (1.2%)
公園やレジャー施設などの遊ぶ場が少ないところ	16 (25.4%)	28 (27.7%)	21 (30.9%)	15 (16.0%)	80 (24.5%)
交通の便が悪いところ	6 (9.5%)	5 (5.0%)	10 (14.7%)	11 (11.7%)	32 (9.8%)
危険な場所が多いところ	10 (15.9%)	10 (9.9%)	5 (7.4%)	7 (7.4%)	32 (9.8%)
文化、スポーツ施設が少ないところ	14 (22.2%)	29 (28.7%)	9 (13.2%)	19 (20.2%)	71 (21.8%)
買い物をする場所が少ないところ	12 (19.0%)	26 (25.7%)	19 (27.9%)	33 (35.1%)	90 (27.6%)
合計	63 (100.0%)	101 (100.0%)	68 (100.0%)	94 (100.0%)	326 (100.0%)

問2(4)「あなたは、これからも精華町に住み続けたいですか」 問4(1)「あなたは、精華町が将来どのようなまちになることを期待しますか。」	この地域に住み続けたい	進学等で一度は他の地域に出るかもしれないが、また戻ってきたい	他の地域で進学や就職をして、この地域に戻るつもりはあまりない	わからない	合計
研究施設や企業が集まり、最先端科学をひらくまち	7 (11.1%)	7 (6.9%)	4 (5.9%)	6 (6.4%)	24 (7.4%)
働く場に恵まれたまち	8 (12.7%)	4 (4.0%)	2 (2.9%)	1 (1.1%)	15 (4.6%)
交通が便利で快適に暮らせるまち	3 (4.8%)	4 (4.0%)	11 (16.2%)	6 (6.4%)	24 (7.4%)
ショッピングや飲食が楽しめるまち	15 (23.8%)	30 (29.7%)	23 (33.8%)	33 (35.1%)	101 (31.0%)
観光・交流の盛んなまち	2 (3.2%)	9 (8.9%)	3 (4.4%)	7 (7.4%)	21 (6.4%)
子どもが夢をもち、輝けるまち	8 (12.7%)	15 (14.9%)	8 (11.8%)	8 (8.5%)	39 (12.0%)
人と人とのつながりを大切にすまち	4 (6.3%)	12 (11.9%)	7 (10.3%)	6 (6.4%)	29 (8.9%)
誰もが健やかに暮らせる安全・安心のまち	10 (15.9%)	6 (5.9%)	6 (8.8%)	12 (12.8%)	34 (10.4%)
豊かな自然と環境が守られた美しいまち	6 (9.5%)	14 (13.9%)	4 (5.9%)	15 (16.0%)	39 (12.0%)
合計	63 (100.0%)	101 (100.0%)	68 (100.0%)	94 (100.0%)	326 (100.0%)

「あなたは、これからも精華町に住み続けたいですか」に対して、「この地域に住み続けたい」と回答した中学生と「この地域に戻るつもりはあまりない」と回答した中学生とを比較した。

「精華町の好きではないところ」について、「この地域に戻るつもりはあまりない」と回答した中学生は、以下の選択肢の回答比率が、「住み続けたい」と回答した中学生よりも高かった(カッコ内は「住み続けたい」と回答した中学生の回答比率との差異)。

- ・「買い物をする場所が少ないところ」(+8.9%)
- ・「公園やレジャー施設などの遊ぶ場が少ないところ」(+5.5%)
- ・「交通の便が悪いところ」(+5.2%)

また、「精華町が将来どのようなまちになることを期待」するかについて、「この地域に戻るつもりはあまりない」と回答した中学生は、以下の選択肢の回答比率が、「住み続けたい」と回答した中学生よりも高かった(カッコ内は「住み続けたい」と回答した中学生の回答比率との差異)。

- ・「交通が便利で快適に暮らせるまち」(+11.4%)
- ・「ショッピングや飲食が楽しめるまち」(+10.0%)

以上の結果から、「この地域に戻るつもりはあまりない」と回答した中学生は、精華町に関して商業・レジャー施設及び交通について相対的に高い課題意識を抱いていると考えられる。精華町で育った子供たちが将来、精華町に戻ってきってもらうためにはこういった要素について検討を深めていく必要があると考えられる。